

令和元年度第1回袖ヶ浦市郷土博物館協議会

1 開催日時 令和元年7月25日(木) 午前10時30分開会

2 開催場所 市立市川歴史博物館 2階講堂
市立市川歴史考古博物館、国史跡堀之内貝塚、国史跡姥山貝塚

3 出席委員

委員長	伊藤 誠	委員	篠原 美智代
副委員長	武田 弘	委員	高橋 佳代子
委員	加藤 みどり	委員	唐木 義昭
委員	岩崎 照代		

(欠席委員)

委員	菊池 眞太郎	委員	山崎 剛
委員	佐藤 優子		

4 出席職員

館長	井口 崇	生涯学習課 学芸員	鎌田 望里
副館長	西原 崇浩	生涯学習課 学芸員	助川 諒
主査	渡邊 麻希子		

5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5人
傍聴人数	0人

6 議題

(1) 市立市川考古博物館並びに堀之内貝塚、姥山貝塚、曾谷貝塚の保存活用について

(2) その他

7 議事

市立市川考古博物館 領塚学芸員（以下領塚学芸員） では、配布している資料に基づきご説明します。資料『国史跡活用状況視察配布資料』の1ページ目に市川市において国指定を受けている史跡一覧の記載がありますが、縄文時代については、姥山貝塚・堀之内貝塚・曾谷貝塚の3つが指定されています。2ページ目の地図をご覧ください。市川市域は、真ん中がくびれるような形になっており、そのあたりに総武線と京成線が斜めに走っています。それより南側が低地部分で北側が標高20～25メートルの高台となっており、そのあたりに遺跡があります。これから、その遺跡の概要と活用状況についてお話させていただきます。

まずは、姥山貝塚です。国の史跡になっている理由ですが、一つ目に完全な形の竪穴住居跡が日本で初めて見つかったということがあげられます。次に、竪穴住居の床に成人の男性2人、女性2人、子ども1人、計5体の人骨が見つかったため、その人たちが家族だったのか死因は何だったのか等、今でも議論されています。それから、100体以上の人骨が発見され、縄文人の平均身長・平均寿命を算出するときに貢献しているということもあります。また、遺跡の航空写真が初めて撮影された場所でもあります。そして、今につながることとして、放射性炭素によって理化学的に年代測定をする初めての例が姥山貝塚でした。姥山貝塚の報告書の中で、戦前まで縄文時代のことを石器時代と言っていましたが、縄文時代という言葉が石器時代という言葉と併用され、出版社からきちんとした報告が出て、学界に対する影響力が非常にあったので、この報告書がきっかけで縄文時代という名前が全国に普及していきました。最近の研究成果で、低地部を掘ることによって、貝塚より西側1,200メートルぐらいのところに当時の干潟の跡が見つかりました。土器のかけらを使った網につける錘などもみつき、姥山貝塚の人々がどのあたりまで貝や魚を取りに行ったのかということがわかっています。市川市内で縄文時代の遺跡は150箇所程、貝塚は55箇所程あり貝塚の密集地域ではあります。姥山貝塚の現況ですが、入口から入る北側のところに姥山貝

塚の石碑と説明板があり、貝のあるところは縁石で30cmくらい盛土をして囲っています。

また、主な発掘地点のところに縦40cm横50cmくらいの説明板を立てています。姥山貝塚は、武蔵野線船橋法典駅から線路沿いに徒歩10分程の場所にあり、歩きで行くには良いのですが、駐車場がなく車で行くのには不便であるという欠点があります。調査の歴史は古く、明治時代には見つかったので、120年程の調査の歴史があります。調査規模が大きく、昭和30年代前半の中学校の教科書のほとんどに姥山貝塚の住居の写真が載っていました。

それから、姥山貝塚から300mほど離れた場所にある柏井小学校の校内に姥山貝塚の展示コーナーを設置し、子どもたちが常時貝塚について知ることができるようにしています。貝塚から近い場所の小学校に展示物を設置するというのは、博物館が近くにはないということもありますが、子どもたちがいつでも姥山貝塚を理解できるような展示内容も必要だということもあります。また、史跡というのは将来に渡って語り継いでいかなければならないものですので、将来を担う子供たちに情報を発信する普及事業というのは大切です。博物館では、展示だけでなく出前事業や体験学習も行っています。展示コーナーには、実際に出土された土器等の複製品、航空写真などを展示しています。

次に、曾谷貝塚についてご説明します。曾谷貝塚は、日本でも最大級の馬蹄形貝塚であり、日本最大の中央窪地型の馬蹄形貝塚です。それから、縄文土器は何年前という標記をしますが、それが普及する以前は何々式土器というように60ぐらいの段階で縄文土器が変遷するので、その60の段階でいつの時期かを示すということがあり、その中のひとつに曾谷式土器があり、その標識的な遺跡です。次に、イタボガキ貝を使った貝輪の作りかけが多く出ている遺跡です。また、犬ではないかと言われている糞石の化石が多くみつかった貝塚です。そして、遺跡近くの川の流域で工事用調整池を掘った際、貝が多く出ましたので、貝の年代を測ると当時の海岸線もわかるということで、海岸線の復元に有効な調査結果がでています。

曾谷貝塚の現況ですが、土地の買い上げをしている最中で、全体の76%

まで進んでいます。まだ、活用が進んでおらず貝塚の真ん中に説明板が1つあるだけなので、活用方法を検討中です。この貝塚は、貝の保存状況がよくなかったため、他の2つの貝塚と比べて国の史跡指定が遅れていました。昭和40年代に国に史跡指定されるための発掘調査を市で行いました。現地では、年1回10月に曾谷縄文祭りを開催しています。地元の4つの自治会が連合して行っています。曾谷貝塚の広場の真ん中で盆踊りをして、縄文にかかわる物の展示、出土品の出張展示、火おこし体験、縄文土器の拓本、土器パズル、あさり汁をふるまう等、地域の交流の場となっています。縄文祭りは今年で25回目になりますが、行政が中心ではなく自治会が主催で熱心に行っています。教育委員会が後援をして、事前に月に1回会議を開いており、全部で5回行っています。博物館も出し物をしているため出席しています。以前は、遺跡にかかわることだけをやればよいという考えでいましたが、今は、特段遺跡に興味のない方々でも遺跡に来てもらうためにはどうしたらいいかを考えるようになり、フリーマーケットでも子供のダンスでもいいから一人でも多く敷地にきてもらう工夫、仕掛けをするように心掛けています。お祭りをやる際は、養生のために史跡の上に砂をひいています。

次に、堀之内貝塚についてご説明します。こちらの学術的な価値ですが、まず1つ目は、堀之内式土器の標識遺跡ということです。次に、東京大学の研究会である東京人類学会が第1回遠足会を開催した場所ということです。その際、発掘された土器の中に堀之内式土器の標識になるようなものもありました。それから、日本で初めて完全な形で埋葬された人骨が出てきました。また、縄文時代晩期に古いものから新しいものまで順をおって層位的に縄文土器が出土されたり、後・晩期のイタボガキ製の貝輪や貝殻が退化した板状のものを体内に持つコウイカがまとまって出土されたりしました。刺し網漁でとったのではないかと考えられます。最近、外環道路の関係で南側の低地の利用状況が明らかになり、トチの実を清水（崖の湧き水）にさらす灰汁抜き施設が見つかりました。そして、土器の集積場であったのか土器や船を漕ぐオールなど様々なものが出土しました。縄文時代の村の中だけでなく、周辺の状況も明らかになったことで、史跡の価値も高まったと言えます。

堀之内貝塚の現況ですが、昭和56年に石碑が建てられました。当時はま

だ木があまりありません。北側の斜面で一番初めに買い上げをした場所です。貝塚の形は、アルファベットのU字形です。堀之内貝塚のように貝塚の形や大きさが歩きながら実感できるところは、東京近郊ではなかなかありません。貝塚は、整備をほとんどしておらず一見林のようですが、長年散歩をしている方々の踏み分け道がちょうど貝塚の真上にあり、それを利用して貝塚の上を歩きながら貝塚の形と大きさを実感することができるとアピールしています。堀之内貝塚を人が付いて案内すると、とても評判が良いです。一方で、姥山貝塚はあまり評判が良くありません。貝塚をガチガチに整備しており、貝塚のイメージがわきにくいことが原因と考えられます。我々博物館職員や研究者の考えていることと一般の方々の考えていることに隔たりがあり、反省材料の一つと言えます。

堀之内貝塚は中央窪地がなく、中央が高くなっております。また、堀之内貝塚の樹木の手入れですが、里山クラブというボランティアの方々が、樹木の剪定や外来種の木々の伐採を行ってくれています。

次に、考古博物館の中で堀之内貝塚をどのように展示しているかについてお話しします。考古博物館は昭和47年11月に建設されました。市史編さん事業の資料保管場所の問題や市民の要望等により博物館設置が検討され、考古博物館が立てられる際には県立博物館として建設される予定でしたが、市に移管され、開館しました。考古博物館の展示内容は市川市の13万年以降の古環境に関することや旧石器時代から平安時代を扱っています。また、堀之内貝塚に隣接しているので、史跡隣接型博物館として位置づけられます。

堀之内貝塚と博物館の関わりですが、まず、ホールに堀之内貝塚ができ始めた頃の海岸線の復元をしています。また、地形の立体模型を置いています。それから、ジオラマ展示により状況を再現していますが、当時の担当はあえて服を着せませんでした。現在はそれを逆手にとって体格の説明に使っています。堀之内式土器の標識遺跡として土器を数多く展示しています。標識土器の堀之内式土器は個人が所有されているもので展示しているものはレプリカです。市内から土偶はあまり出土していません。女性の形をしたアクリル板に貝輪などのアクセサリを展示したり、堀之内貝塚で出た伸展葬の人骨も展示したりしています。

それから、普及事業についてお話すると、一番力を入れているのが縄文体験学習です。市川市内の小学校が全部で39校あり、今年は25校の実績があります。当日の流れですが、大体1学年3クラスですので、40分ローテーションで3回、ボランティアによる貝塚の案内、ボランティアによる火おこし体験、縄文時代の土器や石器、動物の骨に触る体験、黒曜石で紙を切る体験などのほか、粘土に縄文原体の模様をつけることやドングリを割る体験も行ったりします。最後にあさり汁を煮て食べる体験を行っています。博物館での縄文体験のコンセプトは、市川の海辺にいた縄文人の暮らしを学ぶということです。例年4月から6月上旬まで職員総出で行っている事業です。また、ボランティアの方々の力も借りており、毎回10～15名程度参加してくれます。体験学習終了時にアンケートをとって、次に活かすよう心掛けています。

また、学校の体験学習以外の普及事業としては、博物館でお祭りをやっています。サマーフェスタ、オータムフェスタ、縄文体験フェスタの年3回です。お祭りは、普段あまり博物館に関心のない人でも足を運んでもらえるような仕掛けになっていて、貝塚の案内をするブースなども設けています。この場合、案内のシナリオは職員で作成し、実際のガイドはボランティアの方々が行っています。また、3月の縄文体験フェスタの食体験コーナーは、博物館友の会が行っています。

(堀之内貝塚及び姥山貝塚の現地視察)

西原副館長 丁寧なご説明とご案内ありがとうございました。せっかくの機会ですので、何か聞きたいことや質問等ありませんか。

伊藤委員長 加曽利貝塚のように、貝塚の断層を見せるような展示施設を作ることは考えなかったのですか。

領塚学芸員 それは、管理の関係が難しくできませんでした。史跡で見つかった竪穴住居を再現してほしいという要望もありましたが、復元するだけで500万円

程かかり、日常の管理として火入れを行う必要もあり、放火等の心配もあり断念しました。現在、史跡においてハード面での整備はなかなか難しく、例えば費用のかからないように、堅穴住居であればQRコードでバーチャルに再現するなどするほうが現実的と考えます。

篠原委員 堀之内貝塚は年1回ボランティアの方が樹木の手入れをしているということでしたが、姥山貝塚についてもボランティアが行っているのですか。

領塚学芸員 いいえ。姥山貝塚と堀之内貝塚は都市公園の網もかかっていますので、草刈りについては公園整備の担当が行っています。業者委託で年4回程度行っているようです。予算は、市の予算です。曾谷貝塚は都市公園ではないので、史跡公有化を担当する部署で行っています。

西原副館長 打ち合わせを兼ねて下見にきたときに丁度草刈りを行っていました。それから2週間程経ちますが結構草が伸びていますね。除草剤を使うという手もあると思いますが、山野貝塚の場合は、周りが畑ですので、除草剤を撒く行為が許されないのではないかと思います。

領塚学芸員 堀之内貝塚の見学に関して言えば、見学する通路については、イベント前にプラスアルファでボランティアに来ていただき、伸びた枝を剪定してもらったりはしています。ただ、草刈りとは違います。

西原副館長 他に何か聞きたいことはありますか。

領塚学芸員 では、ボランティアについて追加でお話しさせていただきます。我々は、ボランティアの運営はサークル活動であるというイメージでいます。サークル活動の幹事的な役割が私たち職員であります。そして、なるべくボランティアの方々が楽しいと感じることを考えています。例えば、研修での視察先をボランティアのみなさんが行きたいと思うところへ行ったり、ボランティアの活動場所として、部屋を用意したりといったようなことです。大事なの

は、職員とボランティアとが顔を合わせコミュニケーションをとることだと感じています。

伊藤委員長 袖ヶ浦市の市民学芸員と博物館友の会会員は、現在何人いますか。

西原副館長 市民学芸員は35数名で、友の会は70～80名程います。

領塚学芸員 今回の企画展で、丸木舟など重要な文化財を監視するのに、当初は職員で交替して行う予定でしたが、なかなか大変でしたので博物館友の会や火おこし体験等のボランティアをお願いしてご協力いただいています。逆に職員がお話しを依頼されてやることもあり、ボランティアと博物館は持ちつ持たれつの関係と言えます。

西原副館長 最後に1つお伺いします。姥山貝塚のこの辺りは盛土をどのくらいやっているのですか。

領塚学芸員 こちらは全くしていません。畑のままです。縁石の部分は30cmぐらい行っています。

伊藤委員長 史跡全体の買収金額は、いくらになりますか。

領塚学芸員 資料に記載しておりますが、補助金も含めて8,270,395,768円です。高いと感じるかもしれませんが、この辺りは土地の値段も高いので仕方ありません。国と市が9対1の割合ですので、ほとんど国が支出しています。来年には、曾谷貝塚の土地の買い上げが80%を超える予定です。

最後に史跡は先々まであり続けます。したがって普及活動も一時的な活動ではありません。私職員一人でやれば良いということではなく、続けられることを細く長く普及していくことが大事だと思います。

西原副館長 他にご質問等なければ、以上で終了とさせていただきます。本日は、お忙

しいところご丁寧に対応いただきありがとうございました。

閉会